

2025 年度 決算のお知らせ

2026 年 7 月 23 日開催の住友ファーマ健康保険組合 組合会において、
2025 年度決算が承認されましたのでお知らせいたします。

2025 年度の決算概要

収入 29 億 28 百万円、支出 19 億 35 百万円となり、収支差は 9 億 93 百万円の黒字となりました。
この黒字は、2024 年度からの繰越金 7 億 9 百万円と過去からの積立金の繰入金 5 億円があったため
ですが、繰越金と繰入金を除いた場合の基本収支（収入：健康保険料、支出：保険給付費と拠出金）
の収支差は -54 百万円となり赤字となっています。

<収入：29 億 28 百万円>

【56%】 健康保険料 16 億 44 百万円	【24%】 前年度繰越金 7 億 9 百万円	【17%】 別途積立金 5 億円	
-------------------------------	------------------------------	------------------------	--

他

<支出：19 億 35 百万円>

【48%】 保険給付費 9 億 26 百万円	【40%】 拠出金 7 億 72 百万円	【8%】 保健事業費 1 億 49 百万円	
------------------------------	----------------------------	-----------------------------	--

<用語説明>

- 収入・健康保険料：従業員の皆さんや事業主からの保険料です。保険料率は 8.3%です。
- ・前年度繰越金：前年度収支が黒字の場合、その黒字分の当年度繰越金です。
 - ・別途積立金：感染症拡大や高額療養費など医療費急増、急激な保険料収入減少など不測の事態に対応し、保険料の急な引上げを回避するなどに備えた積立金です。

- 支出・保険給付費：病気、ケガ、出産、死亡された際に支払われる医療費や手当金です。
例えば、病院受診時の 3 割は自己負担ですが 7 割は健保組合負担となります。
- ・拠出金：日本の高齢者医療制度の財源を支えるために国へ拠出（納付）する費用です。
 - ・保健事業費：健診（ドック、婦人科、歯科など）、保健指導、予防接種、健康づくりなど健康維持増進のための費用です。

2025 年度の決算内容

1. 健康保険料

皆さんと事業主から納付いただいた健康保険料収入は、前年比－271 百万円の 1,644 百万円となりました。

これは、加入者数（従業員）の年度平均が前年比 861 人減少の 2,411 人となった影響ですが、一人あたりの健康保険料収入は前年比 96 千円増となっており、標準報酬月額と賞与保険料の増によるものです。

2. 保険給付費

加入者（従業員とご家族）の医療費などにあてられる保険給付費は、前年比－321 百万円の 926 百万円となりました。

これは、加入者数（従業員とご家族）の年度平均が前年比 1,907 人減少の 4,966 人となった影響ですが、一人あたりの保険給付費は前年比 5 千円増の 186 千円となり、医療機関への受診は微増といった状況です。

3. 拠出金

日本の高齢者医療を支えるために国から当健保組合へ割り当てられた拠出金は、前年比 51 百万円増の 772 百万円となり、高齢化社会の中、増加傾向にあります。

一方で、当健保組合の加入者数減少に伴う拠出金への影響は 2026 年度からとなり、2025 年度比－64 百万円の 708 百万円となっています。

4. 保健事業費

加入者（従業員とご家族）の健康づくりをバックアップする保健事業費は、前年比－25 百万円の 149 百万円となり、保険給付費と同様に加入者の減少によるものですが、ドック健診の受診率は前年比 8%増の 43%、また、インフルエンザワクチンの接種率は 32%（前年比－1%）となっており、加入者の普段からの健康への意識が高いことがうかがわれます。

介護保険

介護保険料収入 2 億 85 百万円、国への納付金 2 億 10 百万円となり、収支差 75 百万円は 2026 年度へ繰越いたします。

なお、加入者（従業員）減少に伴う納付金減額は、2025 年度から反映されており、前年比－192 百万円となっています。

健保組合では、事業の効率化を図りご加入者の健康増進施策に引続き取り組んでまいります。

皆さんにおかれましては、各種検診など保健事業を積極的に活用し、健康維持・増進にお役立ていただき、また、医療機関の適正受診など医療費削減へのご協力をお願いいたします。